

地域企業紹介 88

相模ガス株式会社
代表取締役 杉岡芳樹氏

人生の指針 それは「Promise」

LPガスを販売する相模ガス株式会社の代表取締役である杉岡芳樹社長を相模原市中央区淵野辺の本社に訪ねました。

今年で創業65年となる同社は、昭和34年9月に杉岡芳樹社長の父である杉岡敏毅さんが「淵野辺プロパン商会」を立ち上げたのが始まり。昭和40年、思いがけない事故で亡くなった敏毅さんに代わり、母の増子さんが会社を引き継ぎました。杉岡社長が中学3年生の時、増子さんは事業を営みながら必死で我が子3人を育てられたとのこと。その後、平成6年に杉岡芳樹社長が代表取締役に就任し、今年で就任30年目の年となります。現在、LPガスの販売をはじめ、東京ガス仕様配管工事を含むガス配管工事一式、ガス器具および厨房器具の販売・取付工事を主要事業とし、営業網は神奈川県西部、横須賀・湘南エリア、埼玉県や山梨県の一部を含む広範囲なエリアに1万軒以上の顧客を有しています。

創業以来、エネルギー供給の専門会社として「地域密着」「顧客第一主義」を掲げ、地域に寄り添いながら営業活動を続けています。そんな同社を率いる杉岡社長は、平成27年に亡くなった先代社長であり母である増子さんからの、「Promise」という言葉を常に念頭に置いて生きるように教わりました。「常に他人に対して、また自分自身に対して約束を守ることを第一に考えよ。自分の成長と信頼関係の構築のために誠実に生きることを目指せ」という教えで、今でも杉岡社長の心に深く刻まれており、「生きる上での指針」になっています。事業においても、LPガスの販売を通じてお客様に安全・安心、快適な生活を“約束”することがライフライン事業者として最大の使命となっています。そして、その責務を果たすために365日24時間体制の窓口を設置し、マイクロコンピュータを駆使した遠隔システムの導入などにも躊躇なく投資を行い、より良い提案に向けた事業のリノベーションに取り組んできました。

一方で、「LPガス業界の今後については、いくつかの要因が影響を与える可能性がある」と杉岡社長。1つ目は、環境規制の強化：環境に配慮したエネルギー政策の推進により、LPガスが減少する可能性があります。そのため、販売会社は、より環境に配慮したエネルギー源へのシフトを進める必要があります。たとえば、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーへの事業展開などが考えられます。2つ目は、コスト低減の必要性：LPガスは市場競争が激しいため、価格競争力を維持する必要があります。そのため、効率的な物流・配送システムの確立や生産ラインの自動化・省力化など、コスト削減に取り組むことが重要です。3つ目は、需

代表取締役：杉岡 芳樹（すぎおか よしき）
所在地：神奈川県相模原市中央区淵野辺 3-1-2
従業員数：25名
事業内容：LPガス販売、ガス配管工事、
東京ガス仕様配管工事、ガス器具及び厨房器具販売
URL：<https://www.sagamigas.com/>

要の多様化:住宅用途以外に商業や産業用途でもLPガスを使用することがあります。販売会社は、需要の多様化に対応するため、新しい市場を開拓することが必要です。たとえば、LPガスを使用する商業施設や産業施設向けのサービスの検討をすることが考えられます。4つ目は、技術革新の活用:LPガスの使用方法や設備に関する技術革新が進んでいます。販売会社は、これらの技術を積極的に取り入れ、高品質なサービスを提供することが必要です。たとえば、IoT技術を活用した設備監視・管理システムの導入や高効率なエネルギー機器の提供などが考えられます。今後、こうした課題に取り組んでいくことが非常に重要だと捉えています。

そんな杉岡社長は、相模原生まれの相模原育ちで、これまでの人生のほとんどを淵野辺で過ごしてきたそうです。上智大学3年の時には、友人から紹介された小田実著「何でも見てやろう」という本と出会います。内容は著者が留学生として「まあなんとかやる」の精神でカナダ・メキシコなどを訪れる体験記でした。もともと欧米の映画が好きで、留学したり、将来は映画製作の仕事に関わりたと思っていたところ、「世界を見てやろう」とする著者の貪欲な姿勢に「今の自分に足りないのはこれだ!小田に負けてられるか!」と闘争心が湧いたのだとか。就職を目前にしてうつつとする中、「長男は仕事を継

ぐべき」という母の増子さんを説得し、大学4年の5月から格安ルートで欧州16か国を放浪する旅へ。横浜港からナホトカ、モスクワ、フランス、イタリア、ドイツなどを巡りました。そして、イスタンブールのボスポラス海峡(東洋と西洋の境)の橋の上で「そのまま放浪して中近東から東南アジア経由で旅を続けるか、それとも戻って家業を継ぐか?」、悩みに悩んだ末、自分は戻って家業を継ぐことを決心しました。昭和47年、ぼんやりと描いていた映画への思いを断ち切り同社へ入社。3か月にわたる放浪の旅は、様々な体験から自身の進むべき道が明確になった瞬間として、今でも忘れられない青春時代の思い出になっているそうです。

現在、杉岡社長は自社の経営を行いながら、約4500社の会員数を有する相模原商工会議所の会頭をはじめ、相模原市産業振興財団理事長を務めています。平成17年から24年にかけては(株)さがみはら産業創造センター取締役を歴任し、地域の産業振興に力を注ぎ、そうした功績から、令和3年春には「旭日小綬章」を受賞されました。昭和・平成・令和と激動する時代の中で、様々な苦難を乗り越え、長きにわたり事業を継続してきた相模ガス株式会社。新たな年を迎え、時代は変わっても「Promise」「地域密着」「顧客第一主義」の精神は永遠に受け継がれていくことでしょう。

安全第一に、ものづくり 中小企業をサポートする!

レーザ技術サービス株式会社

工業材料として用いられる金属の切断や溶接を行う高出力レーザ加工機の輸入・販売、メンテナンスを行うレーザ技術サービス株式会社は、令和元年9月に設立しました。その代表である田口孝美社長にお話を伺いました。

大学は理工学部精密機械学科に進み、レーザ研究室で先端技術を学び、卒業後は外資系の企業でレーザ発振器の開発や、装置の販売、アフターサービスまで一通りの業務に従事しました。定年を迎える時期になり、自身の経験を活かし、これからさらに普及が進むレーザ業界での事業を行うため起業を決意しました。

同社が取り扱う製品は PentaLaser 社 (イタリア資本の中国企業) 製で、固体レーザの一種であるファイバーレーザを用いています。多岐にわたるレーザの中でも、高いエネルギー変換効率と、光軸ズレがない安定性が特長で、ビーム品質に優れています。最高速を実現するハイパワーファイバーレーザ切断機“BOLT”は最大出力が60kwで、ステンレス 315mm、軟鋼 160mm、アルミ 260mm の切断が可能なハイエンド装置。超高速切断、バリのない超高速穴あけ、ベベル

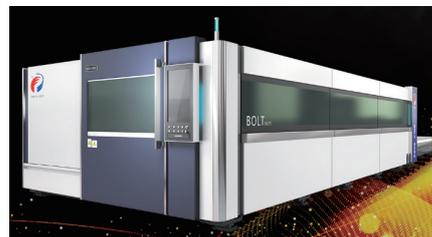
切断、精密カットも可能で、パワーと精密さを兼ね備えた加工機として、引き合いを増やしています。最新モデルとして販売を開始したのはファイバーレーザ切断機“SWING”で、選りすぐりの機能を揃えた費用対効果の高いライトモデルと位置付けています。

PentaLaser 社の日本総代理店となってから販売数を着実に伸ばしているのはハンディファイバーレーザ溶接機“HW1000”で、競合製品と比較して低価格でありながら、コンパクトでハイパワーな仕様です。ダブルワイヤーフィーダー対応型“HW2000”もラインナップ化し、拡販を図りつつも、加工機は同社内で全数検査・調整を行ってから顧客に納品します。「安全第一」をモットーとする同社は、導入先から技術サービス面からも高い評価を得ています。

自動化ニーズに対応して加工機とロボットを組み合わせたシステムでの販売も開始し、FANUC 製協働ロボットによる自動化された HW シリーズは、関東圏や関西圏で展示会や実演会を積極的に実施しています。

ものづくり現場のニーズを捉えた加工機の販売

ときめ細やかなサービスの提供、これらは田口さんがこれまでにレーザ業界で培った経験と知見によるものです。工業用レーザの黎明期から、レーザ一筋で歩んできた田口さんの果敢な挑戦はさらに加速度を増し、続いていきます。



レーザ技術サービス株式会社
SIC1 Startup Lab.1204 号室
<https://laserts.com/>

謹賀新年

第100回の記念大会となった箱根駅伝は、相模原市内にキャンパスをもつ青山学院大学が大会新記録で2年ぶり7回目の総合優勝を果たしました。各大学の選手たちが同じ目標に向かって“強い絆”で襷をつないでいく姿に感動された方も多かったのではないのでしょうか。大正9年(1920年)から100年以上も続いている箱根駅伝の魅力の一つは、個人競技×チームスポーツである点だと言われます。どの選手も自分の区間を走っているときは、まさに主役です。一方、誰かひとりでも、任せられた区間を走り切れない選手がいれば失格になります。区間トップの選手と最下位の選手のタイム差が大きく開くこともあるなど、個人成績がはっきりするのは陸上競技ならではの特徴です。そこにチームとしての連帯感が加わり、「仲間のために、コーチや監督のために」といつも以上に力を発揮する選手やどんなに苦しくても諦めず走り続ける選手もいます。個人の力に仲間との連帯感が重なり合い大きな力となって、数多くの感動のドラマを生み出しています。それが、長年にわたり箱根駅伝が国民に愛される所以でしょう。

さて、株式会社さがみはら産業創造センター(SIC)は、今年で創立25年の節目の年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、入居企業・地域企業、連携支援機関や専門家の皆様方、そして歴代役員の皆様のお力添えのお陰と心より感謝申し上げます。

これまで、ビジネス・インキュベーション・センターとして、起業家や創業間もない企業、新分野進出を目指す企業の課題解決に向けた経営サポート事業や最適な執務環境の提供を目指した賃貸事業、そして経営塾や職場リーダー養成塾などの人材事業、相模原市からの受託事業である地域企業と学生をつなぐ「サガツクナビ」や「さがみはらロボット導入支援事業」などのプロジェクト事業に取り組んでまいりました。

新たな年を迎えるにあたり、私たちは既存事業の改良を図っていくとともに、次世代の基幹産業に寄与するスタートアップの創出に向けて、株式会社ケイエスピーと連携し投資事業<KSP:NextGファンド>に参画してまいります。また、リニア中央新幹線神奈川駅駅の建設工事が着々と進む中、これから大きく変わる橋本駅周辺のポテンシャルを千歳一隅のチャンスと捉え、相模原市をはじめ各団体・大学と連携して“イノベーション創出”を支援する拠点の整備など、スタートアップエコシステムの構築を図りつつ、50年後100年後に向かって一年一年着実に“襷”をつないでまいります。

結びにあたり、この一年が皆様にとりまして、さらなる発展と健康で幸多き年となりますことを心より祈念申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。

どうぞ、本年も宜しくお願い申し上げます。

株式会社さがみはら産業創造センター
代表取締役 **橋元雅敏**



蕎亭 喜峰庵 (きょうてい きほうあん)

相模原市中央区宮下の令和5年8月にリニューアルオープンをした「蕎亭 喜峰庵」を訪ねました。今回のリニューアルでは、社長自身が車いす生活をした経験や常連の方が三代で来店されるようになったことから、店舗を段差のない全面バリアフリー化。さらにコロナ禍の教訓を活かし、最大48名の個室を含めて、店内はゆとりある空間となっています。

メニューは「そば・酒・鴨」を3本柱としており、チェーン店にはない個人店ならではの心配りが堪能できます。昼は季節の小鉢がつくおもてなし膳、夜は要望に応じ鴨料理がいただける会席料理があります。

40年以上続く老舗の経験と信頼は、大切な方のおもてなしに実りあるひと時を与えます。(佐藤)



会席料理の鴨鍋。鴨は築地から仕入れています。



自ら試し厳選したお酒を提供しています。



昼の会食向け もてなし膳3,500円(税込)

【所在地】神奈川県相模原市中央区宮下本町3-40-5
 【営業時間】11:00～15:00 / 17:00～21:00(火・水・木・日)
 11:00～15:00 / 17:00～22:00(金・土)
 【定休日】月曜日
 【URL】<https://kihouan.com/>

SIC大望年会を4年ぶりに開催！



12月14日に4年ぶりとなる飲食を伴う入居企業交流会を開催しました。

当日は参加者が来年の抱負にしたい3語を選び「ChatGPT」を使って抱負を作るコンテストやビンゴ大会を実施しました。盛況な会になりスタッフ一同喜んでます。これからも入居企業の皆さんに喜ばれるイベントを実施します。

サガツクナビ サレジオ高専と地域企業との交流会 (KM32nd)

サレジオ高専電気工学科4年生が自身のキャリアを考える一環として、地域の企業はどういった仕事をしているかを理解すべく、交流会と企業訪問を実施しました。

参加した学生からは「身近にシェア No.1の会社があることを知るきっかけとなった」「高専卒業生が起業した会社が地域にあることに驚いた」などの感想が寄せられました。今回の交流会を通じ地域企業と地元の学生がつながる一助になったかと思えます。



サガツクナビ 2024 掲載企業募集中!!

詳細は SIC 上野までお問い合わせください。

詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

令和6年1月時点 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

令和6年1月31日(水)	高度ロボットSIエンジニア育成講座 ロボットシステム設計講座
令和6年2月5日(月)	第45回首都圏南西地域産業活性化フォーラム 南西フォーラム オープンイノベーションチャレンジ in さがみはら
令和6年2月20日(火)	第23回経営者セミナー 先人の知恵に学ぶリーダーシップ 今こそ学びたい“貞観政要”

入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和6年1月15日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○セミラボB (31.5㎡)	1 108,240円
	○スモールオフィスA (23.6㎡)	2※1※2 86,570円
	○スモールオフィスB (17.3㎡)	1 70,620円

※1 うち1部屋 令和6年3月以降 ※2 うち1部屋 令和6年5月以降
最新の情報はウェブサイトをご確認ください。

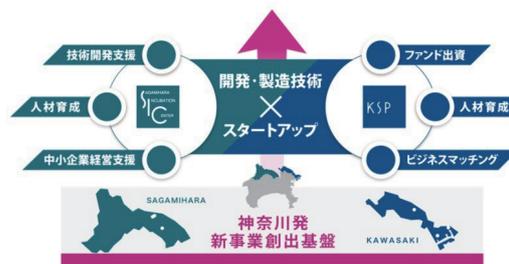


KSP Next generation ファンド (NextG ファンド) に参画します。

SICはこのたび、株式会社ケイエスピーが運営する「NextG 投資事業有限責任組合」に参画します。

このファンドは新たな次世代基幹産業の創出を目指し、ディープテックシーズに基づくスタートアップへの出資とハンズオン支援を行うものです。

SICはこのファンドに参画することで、株式公開を目指す入居企業や市内企業の資金調達ニーズに貢献するとともに、企業の成長支援を進めることで、より成長志向の高い企業にも入居を訴求したいと考えています。



セミナーのお知らせ

～詳細はQRコードからWEBへ～



第23回経営者セミナー

令和6年2月20日(火)
サン・エールさがみはら

先人の知恵に学ぶリーダーシップ 今こそ
学びたい“貞観政要(じょうがんせいよう)”



第45回首都圏南西地域産業 活性化フォーラム

令和6年2月5日(月)
サン・エールさがみはら

南西フォーラム
オープンイノベーションチャレンジ in さがみはら



高度ロボットSI エンジニア育成講座

令和6年1月31日(水)
SIC他

ロボットシステム設計講座
※実務経験10年以上の方向けの実践講座になります。



編集後記

旧年中は弊社に対し、多大なるお力添えをいただき誠にありがとうございました。またこの度は令和6年能登半島地震において、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。今年SICは25年目を迎えます。引き続き変わらぬご支援をよろしく願っています。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>